

株主のみなさまへ

第65期 営業のご報告 (第2四半期)

2010年4月1日～2010年9月30日

HOUSE FOODS REPORT



おいしさやすらぎを

 **ハウス食品**



## 企業理念

食を通じて、  
家庭の幸せに役立つ

## コーポレートメッセージ

おいしさやすらぎを

株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2011年3月期第2四半期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

### グループ会社の飲料製品が堅調だったものの、ミネラルウォーター事業の売却や記録的猛暑の影響により、減収・減益となりました。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、長引く円高・株価低迷などから企業収益全般の回復の動きは鈍く、先行きに対する不透明感が続いております。生活関連分野では、雇用の改善が見られないなか、お客さまの節約志向・選別志向がますます強まり、デフレ傾向が一段と進む厳しい環境下にありました。

このような状況のもと、当社グループは、第三次中期計画の2年目にあたる当連結会計年度を、中期計画の成否を決める重要な1年と位置づけ、「利益重視」「新しい需要の創造」の2つの施策を軸とした企業活動を推し進めております。

売上面におきましては、「ウコンの力」シリーズを中心とする健康食品やスパイス製品がお客さまからご支持をいただいたほか、子会社ハウスウェルネスフーズ㈱の飲料製品が、新製品を中心に堅調に推移しました。しかしながら、本年5月にミネラルウォーター事業を売却したことや、カレー・シチュー製品が記録的な猛暑の影響を受けたことなどから、当第2四半期累計期間の連結売上高は1,095億73百万円、前年同期比2.8%の減収となりました。

また、利益面では、継続的なコストダウンに努めましたものの、売上が減少したことなどから、連結営業利益は58億42百万円、前年同期比10.7%の減益、連結経常利益は62億41百万円、前年同期比12.5%の減益、連結四半期純利益は30億80百万円、前年同期比19.5%の減益となりました。

### 安定的な配当に加え、機動的な自己株式取得を実施いたします。

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに、業績・事業計画などを総合的に勘案し、安定的な配当を継続してまいります。2011年3月期の中間配当金は、前期同様1株につき11円とし、期末配当金も同額の11円とさせていただく予定にしております。

併せて、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主還元の一環として、300万株・45億円を上限とする自己株式取得の実施を発表させていただきました。

### 通期の業績予想を修正させていただきました。

2011年3月期の見通しでございますが、景気後退への不安感が払拭されない状況にあるなか、当社を取り巻く経営環境は、消費の低迷や原材料価格の変動など先行き不透明な部分が残されております。

下半期は売上・利益の一層の改善に努めてまいります。目標を下回った当第2四半期累計期間の業績を補うことは難しいと予想されることから、期初の通期業績予想を修正し、連結売上高は2,170億円(前期比1.6%減)、連結営業利益は103億円(前期比6.1%減)、連結経常利益は112億円(前期比8.1%減)、連結当期純利益は49億円(前期比1.7%増)を予定しております。

何卒株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

取締役社長 浦上 博史





“事業別営業の概況”は、これまで「食料品」「運送・倉庫業他」の2事業区分で表記しておりましたが、現在取り組んでおります第三次中期計画の事業区分との整合性を持たせるため、当連結会計年度より下記4事業区分に変更しております。

### 香辛・調味加工食品事業

カレー製品は、猛暑による家庭での調理頻度の減少や前年のキャンペーン効果の反動等があるなか、「バーモントカレー」「ジャワカレー」が比較的底堅い動きを示しましたものの、「こくまるカレー」が低価格帯製品との競争激化で苦戦しました。また、レトルト製品「咖喱屋カレー」が昨年の新型インフルエンザ流行による備蓄需要の反動もあり、全体では前年同期を下回りました。



スパイス製品は、提案型の営業活動を積極的に行ったことから、売場拡大を図ることができました。また、フレッシュアップを行った「ねりスパイス」がレギュラータイプを中心に好調な売上を示し、増収となりました。



シチュー製品は、野菜の甘みがとけ込んだ「ふうふうシチュー」や、外食などでの人気メニューをご家庭で手軽に楽しめる「おうちチャウダー」などの新製品を発売したものの、長引く残暑の影響でシーズンインが遅れたことから、全体では低調な売上となりました。また、カップタイプ製品では、即食・個食製品全般によりお値打ち

感のある製品が求められるなか、「スープdeおこげ」が厳しい戦いを強いられました。



スナック製品は、ロングセラーの「とんがりコーン」が好調であったほか、新製品のおつまみスナック「パンチェッター」も売上拡大に寄与し、前年同期を上回りました。



以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は623億21百万円、前年同期比2.2%の減収、営業利益は51億89百万円、前年同期比11.9%の減益となりました。

### 健康食品事業

健康食品は、前期発売の「ウコンの力 スーパー」が市場に定着したに加え、朝の素早い水分補給に適したウコンウォーター「ウコンの力 モーニングレスキュー」の発売を開始するなど、「ウコンの力」シリーズの拡充に努めました結果、引き続き安定したご支持をいただき、増収となりました。



ハウスウェルネスフーズ㈱の健康食品事業は、バラエティ製品の「C1000 ビタミンレモンコラーゲン」が比較的スムーズに市場導入できたことや前期末に発売した「C1000 リフレッシュタイムスパークリング」が順調であったこと等が寄与し、前年同期を上回りました。



ダイレクト事業では、食事代替製品とユーザーサポートがセットになったダイエットプログラム「ニュートリシステムJーダイエット」を本年5月より全国展開し、積極的なプロモーション活動によるユーザー獲得に注力してまいりましたが、当初計画には至りませんでした。



以上の結果、健康食品事業の売上高は268億76百万円、前年同期比4.5%の増収、営業利益は5億62百万円、前年同期比20.7%の増益となりました。

### 海外事業

※現地通貨ベース

米国の大豆事業は、新規チャネル・顧客の開拓に注力したこと等から、東部地区を中心に好調な売上となりました。

中国の加工食品事業は、引き続き日本式カレーの普及・拡大に向けた積極的なマーケティング活動を展開し

たことに加え、業務用ルウカレー製品の販路拡大に努めました結果、増収となりました。

カレーレストラン事業につきましては、米国では前年同期を若干下回りましたが、中国・台湾・韓国では新規出店を進めたこと等により、いずれも増収となりました。



以上の結果、円ベースでは、海外事業の売上高は54億63百万円、前年同期比7.0%の増収、営業利益は2億93百万円、前年同期比21.4%の増益となりました。

### 運送事業他

子会社ハウス物流サービス㈱の運送・倉庫事業は、当社ミネラルウォーター事業の譲渡により、グループ内の受託業務が減少したものの、グループ外企業からの物流業務の受託により売上拡大を図ったこと等から、前年同期実績を確保いたしました。

当セグメントに含めております「六甲のおいしい水」は、事業譲渡を行いました結果、大幅な減収となりました。

以上の結果、運送事業他の売上高は149億14百万円、前年同期比18.2%の減収、営業損失は2億18百万円となりました。



# カレーをたべよう。ニッポンをたべよう。 ハウス食品『CURRY ACTION NIPPON』

ハウス食品では、農林水産省が食料自給率の向上をめざして展開している『FOOD ACTION NIPPON』に賛同し、自給率の高いカレーメニューを通じて、「国産食材」「地産地消」「栄養バランスのとれた食事」を推進するプロジェクト『CURRY ACTION NIPPON』を展開しています。

このプロジェクトでは、地元の農畜水産物を使ったご当地カレーを全国各地で考案し、地方自治体や生産者団体と協同でカレーメニューの発表を行うことで、カレーを通じた特産物や地域活性化をアピールしています。また、各地で『カレーフォーラム』を開催し、カレーの新しい魅力や価値を発信したほか、店頭でもご当地カレーを活用した販売促進を実施しております。

※ 現在、日本の食料自給率は約40%（カロリーベース）ですが、カレーライスは67%と自給率の高いメニューです。（農林水産省ホームページ内「料理自給率計算ソフト」による当社基準での計算）

## CURRY ACTION NIPPONが提唱する3つのアクション

旬

### 旬の食材を味わう

旬や地域の食材を取り入れ、カレーをおいしく食べていただくことをご提案します。

楽

### 料理や食を楽しむ

食シーンを楽しく豊かにする、カレーメニューの広がりをご提案します。

育

### 食の大切さを知る

食の大切さや家族のコミュニケーションを推進する食育をご提案します。

プロゴルファー 石川 遼 選手

広島県

### 夏野菜の広島ええじゃんカレー



広島県産農林水産物活性化プロジェクト発表会

大分県

### 大分県産なすとトマトの夏野菜カレー



ご当地カレー試食会

熊本県

### 熊本県産トマトとなすの夏野菜カレー

宮崎県

### 宮崎県産さといも・ピーマンを使ったビーフカレー



新潟県

### 新潟夏野菜カレー



地元野菜の展示

石川県

### トマトとなすとかぼちゃのカレー



愛媛県

### 夏野菜たっぷり元気に効くカレー

長野県

### 信州きのこいっぱいポークカレー



ご当地カレー発表会

沖縄県

### ゴーヤーキーマカレー



北海道

### 野菜もお米も！まるごと北海道カレー

秋田県

### まるごと秋田の夏カレー

青森県

### 決め手くんおすすめ！県産野菜とホタテのカレー



岩手県

### 黄金の国いわての夏野菜カレー

宮城県

### 食材王国みやぎの夏カレー

## 執行役員インタビュー

### カレーの新しい魅力をお届けしたい

食料自給率の向上や地産地消の促進をめざす『FOOD ACTION NIPPON』の活動は、私たちが以前から取り組んでいる食育の活動と相通じるところが多くあります。また、“どんな食材にも合う、栄養バランスのとれたメニューの代表”であるカレーの魅力向上にもつながるのではないかとこの思いから、『CURRY ACTION NIPPON』の活動をスタートしました。

地元特産の旬の食材を豊富に使うことで地産地消にも貢献でき、地元の自治体、生産者団体や流通のみならず皆様からご支援をいただき、“わが故郷・わがまちのカレー”が全国で29種類も考案されました。今後もこのような取組を通じて、カレーの新しい魅力をお届けしていきたいと思っています。

常務執行役員 香辛食品部長  
工東 正彦





## カレーライスを中国のみなさまに ～ルウ・レトルトの統合で新たな展開を図る中国事業～



「百夢多咖喱」の試食

当社では、日本と同じ米食文化圏である中国でのカレーライスの可能性に早くから着目し、1997年には上海にカレーレストランをオープン、2002年には上海ハウス味の素食品(有)に出資してレトルトカレーを販売するなど、日本式カレーの普及・拡大に努めてきました。

2005年には子会社上海ハウス食品(有)を設立。上海市内にカレー工場を建設し、日本でNo.1ブランドのルウカレー「百夢多咖喱(バーモントカレー)」の販売を開始しました。先ずは、おいしさを体験していただくことが大切と考え、店頭や宣伝カーを利用した試食の他、学校給食や産業給



上海ハウス食品(有)

食のメニューに入れていただくなど、地道な普及活動を行っています。敷地面積3万㎡、1日あたりの生産能力6万個の工場で生産されたルウカレーを、現地の百貨店やスーパーを通じてお客さまにお届けしています。

日本の約10倍の人口の中国。大きな可能性を感じながら、いつかカレーが中国で人気No.1メニューになる日を願って。

中国に進出以降、ルウカレー「百夢多咖喱」と、レトルトカレー「味嘟嘟咖喱」を異なるコーポレートブランドで展開してきましたが、本年2月に、上海ハウス味の素食品(有)で行っていたレトルト事業を上海ハウス食品(有)に統合するとともに、コーポレートブランドを「好侍(ハウス)」に統一しました。このルウとレトルトの統合で、店頭でより一体感のあるマーケティング活動を進めることができ、製品に対するお客さまの認知度もアップしています。

“ルウ”“レトルト”に“レストラン”を加えた3つの事業で、中国の食卓にカレーを浸透させていきます。



「好侍」カレーの店頭陳列

### 北京五輪金メダリストを広告に起用

上海ハウス食品(有)では、オリンピック選手養成の国家機関で高い知名度のある“中国国家体育总局訓練局”との共同によるプロモーション活動を展開しております。広告には、お子さまやお母さまから人気の何雯娜(カ・ブンナ)さん(北京五輪女子トランポリン競技金メダリスト)を起用。多くのお客さまに「百夢多咖喱」のおいしさをアピールしています。

また、訓練局内で提供される食事メニューには「百夢多咖喱」が採用されており、未来の五輪選手にも、栄養豊富なカレーが大好評です。



## 新製品ご紹介

### ふうふうシチュー

野菜のやさしい甘みがとけ込んだ、お子さまがおかわりしたくなるルウタイプのシチューです。



“ふうふう”というネーミングとパッケージのデザインで、シチューのある食卓の暖かさや、お子さまのいる楽しい食卓を表現しました。

〈クリーム〉は、玉ねぎや白菜、にんじんのやさしい甘みと鶏肉のうまみがとけ込んだ、クリーミーでまろやかなおいしさ、〈ビーフ用〉は、炒め玉ねぎの甘みとうまみ、トマトのさわやかな酸味がとけ込んだ、まろやかなおいしさが特長です。



また、隠し味に昆布やしいたけ、しょうゆなどの素材を使用しているので、ごはんや和のおかずともよく合い、大人の方にもご満足いただけます。

※玉ねぎ、白菜、にんじんは野菜エキス由来です。

### 特選本香りシリーズ

ハウス新製法で“本物感”のある「香り」と「風味」に徹底してこだわりました。

お料理にアクセントをつけるスパイス製品について、お客さまのご要望が高い“本物感のある香り”を実現するために、ねりスパイスにハウス新製法を導入し、「特選本香り」としてフレッシュアップしました。

“本物感”実現のために研究と工夫を重ね、〈生わさび〉では、わさびの辛さと香りを引き出すために0℃付近のおろし温度にこだわり、〈からし〉・〈和からし〉は、辛さと風味を引き出しやすい温度で練り上げることで、本物感のあるおいしさをご提供しています。



## 連結貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 (2010年9月30日現在)	前 期 末 (2010年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	104,896	102,507
固定資産	129,060	129,420
有形固定資産	56,377	62,808
無形固定資産	7,175	9,411
投資その他の資産	65,508	57,201
資産合計	233,956	231,927

## 負債の部

流動負債	40,591	39,276
固定負債	9,654	10,023
負債合計	50,244	49,299

## 純資産の部

株主資本	182,857	180,985
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	150,367	148,494
自己株式	△ 1,327	△ 1,326
評価・換算差額等	401	1,290
その他有価証券評価差額金	1,860	2,582
為替換算調整勘定	△ 1,459	△ 1,292
少数株主持分	454	353
純資産合計	183,712	182,628
負債純資産合計	233,956	231,927

## 連結損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累 計 期 間 (2010年4月～ 2010年9月)	前第2四半期 累 計 期 間 (2009年4月～ 2009年9月)
売上高	109,573	112,758
売上原価	58,783	60,615
売上総利益	50,790	52,143
販売費及び一般管理費	44,948	45,598
営業利益	5,842	6,545
営業外収益	696	636
営業外費用	296	49
経常利益	6,241	7,132
特別利益	151	13
特別損失	739	271
税金等調整前四半期純利益	5,654	6,873
法人税等	2,607	3,072
少数株主損失(△)	△ 33	△ 28
四半期純利益	3,080	3,829

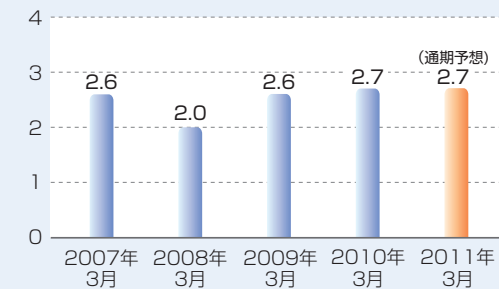
## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

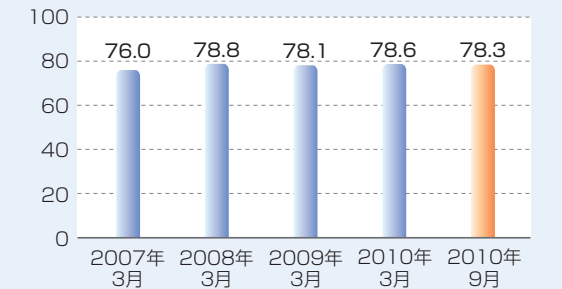
	当第2四半期 累 計 期 間 (2010年4月～ 2010年9月)	前第2四半期 累 計 期 間 (2009年4月～ 2009年9月)
営業活動によるキャッシュ・フロー (うち減価償却費)	7,953 (2,782)	5,770 (2,949)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,108	△ 2,361
財務活動によるキャッシュ・フロー (うち配当金の支払額)	△ 1,286 (△ 1,205)	△ 1,383 (△ 1,204)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 216	29
現金及び現金同等物の増加額	1,342	2,055
現金及び現金同等物の期首残高	44,570	41,680
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,913	43,735

## 連結経営指標

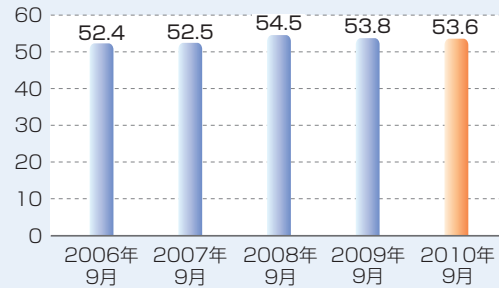
## 自己資本当期純利益率(ROE) 単位:%



## 自己資本比率 単位:%



## 売上原価率 単位:%



## 売上高営業利益率 単位:%



## 一株当たり当期純利益 単位:円



## 貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 (2010年9月30日現在)	前 期 末 (2010年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	<b>88,980</b>	<b>88,182</b>
固定資産	<b>140,538</b>	<b>137,890</b>
有形固定資産	32,236	38,116
無形固定資産	2,333	2,549
投資その他の資産	105,969	97,225
資産合計	<b>229,518</b>	<b>226,072</b>

<b>負債の部</b>		
流動負債	<b>37,354</b>	<b>35,908</b>
固定負債	<b>2,925</b>	<b>3,196</b>
負債合計	<b>40,279</b>	<b>39,103</b>

<b>純資産の部</b>		
株主資本	<b>187,278</b>	<b>184,314</b>
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,815	23,815
利益剰余金	154,841	151,876
自己株式	△ 1,327	△ 1,326
評価・換算差額等	<b>1,962</b>	<b>2,655</b>
その他有価証券評価差額金	1,962	2,655
純資産合計	<b>189,240</b>	<b>186,968</b>
負債純資産合計	<b>229,518</b>	<b>226,072</b>

## 損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累計期間 (2010年4月～ 2010年9月)	前第2四半期 累計期間 (2009年4月～ 2009年9月)
売上高	<b>75,933</b>	<b>80,839</b>
売上原価	<b>36,186</b>	<b>38,853</b>
売上総利益	<b>39,747</b>	<b>41,985</b>
販売費及び一般管理費	<b>33,920</b>	<b>35,348</b>
営業利益	<b>5,828</b>	<b>6,637</b>
営業外収益	1,561	1,154
営業外費用	231	164
経常利益	<b>7,158</b>	<b>7,627</b>
特別利益	95	8
特別損失	555	211
税引前四半期純利益	<b>6,697</b>	<b>7,424</b>
法人税、住民税及び事業税	2,525	2,822
四半期純利益	<b>4,172</b>	<b>4,602</b>

新製法の採用でCO<sub>2</sub>排出量を削減

当社では、新製品の開発・改良の際には、環境への影響も考慮した、さまざまな取組を行っています。今春、「バーモントカレー」などの主力ルウカレー製品に「新・濃縮加熱製法」を採用し、おいしさを維持したまま、使用する油脂量を減らすことに成功しました。この新製法採用により1皿あたりの容量が減ったことで、環境面では製品輸送時のエネルギー使用量が削減され、物流段階のCO<sub>2</sub>排出量が「バーモントカレー」で1皿あたり4%削減されました（旧製品との比較）。



## ねりスパイスの使い勝手向上と環境負荷低減

当社は、お客さまにとっての使いやすさと環境への影響という視点で、容器や包装についても改良を続けています。「特選本香り」シリーズなどのねりスパイス製品において（80gお徳用サイズ、瓶タイプを除く）、外箱にミシン目を入れることにより、開けやすさを向上するとともに、折りたたみやすく、中身を絞り出しやすいチューブに変更しました。また、チューブのアルミシールを大きくし、開封時にはがしやすくしました。

さらに、紙カルトンもサイズを見直し、奥行方向を縮小することで年間の紙使用量を約24t削減しました（2009年度販売実績からの算出）。

これからも、より使いやすく、環境にも優しい製品の開発に取り組んでいきます。



拡大図





会社概要

(2010年9月30日現在)

- ◆創業年月日 1913年11月11日
- ◆設立年月日 1947年6月7日
- ◆資本金 9,948,323,523円
- ◆事業内容 食品製造加工ならびに販売、その他
- ◆従業員数 2,202名
- ◆所在地 大阪本社／〒577-8520  
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
TEL 06-6788-1231（大代表）  
東京本社／〒102-8560  
東京都千代田区紀尾井町6番3号  
TEL 03-3264-1231（大代表）

役員

(2010年9月30日現在)

取締役会長	小瀬 防	常務執行役員	尾崎 俊郎
取締役社長	浦上 博史		野村 孝志
取締役専務執行役員	松本 恵司		田口 昌男
	井上 始		藤村 浩史
	広浦 康勝	執行役員	工東 正彦
取締役常務執行役員	溝渕 寛		山口 守世
	藤井 豊明		一柳 和文
	加藤 浩		青坂 元竜
取締役	山本 邦克		西田 太一
			柴原 弘章
			小池 一文
			高木 敬文
監査役	吉村 光央		巖本 一雄
	伊藤 研三		
	由本 泰正		
	治郎丸 清志		
	三浦 勁		

グループ会社

(2010年9月30日現在)

連結子会社（16社）

●国内会社 ●海外会社

持分法適用関連会社（6社） ●国内会社 ●海外会社

- 株式会社デリカシェフ
- サンハウス食品株式会社
- ハウスウェルネスフーズ株式会社
- ハウス物流サービス株式会社
- 株式会社ハウス食品分析テクノサービス
- ハウスあいファクトリー株式会社
- サンサプライ株式会社
- ハインネット株式会社
- 朝岡スパイス株式会社
- ハウスビジネスパートナーズ株式会社
- ハウスフーズホールディング USA Inc.
- ハウスフーズアメリカ Corp.
- 上海ハウス食品有限会社
- 上海ハウスカレーココ壱番屋レストラン有限会社
- 台湾カレーハウスレストラン株式会社
- 韓国カレーハウス株式会社

- 株式会社ヴォークス・トレーディング
- 株式会社壱番屋
- サンヨー缶詰株式会社
- イチバンヤ USA Inc.
- 壱番屋香港有限会社
- 株式会社ジャワアグリテック

株式の状況

(2010年9月30日現在)

発行済株式総数 110,878,734株  
発行可能株式総数 391,500,000株  
株主総数 47,614名  
1単元の株式数 100株

《2011年3月期配当金》

	1株当たり配当金
第2四半期末	11円00銭
期末(予想)	11円00銭
年間(予想)	22円00銭

大株主

(2010年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ハウス興産株式会社	12,585,616	11.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,949,200	7.17
株式会社HKL	6,000,000	5.41
株式会社三井住友銀行	3,668,027	3.31
財団法人浦上食品・食文化振興財団	2,872,200	2.59
浦上 節子	2,734,569	2.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,694,200	2.43
味の素株式会社	2,693,543	2.43
日清食品ホールディングス株式会社	2,463,400	2.22
日本生命保険相互会社	2,306,010	2.08

株主優待

毎年3月31日現在、当社株式100株以上を所有されている株主さまを対象に、下記の基準により当社グループの製品詰合わせを贈呈いたします。

100株以上1,000株未満

[1,000円相当の詰合わせ]



1,000株以上

[3,000円相当の詰合わせ]



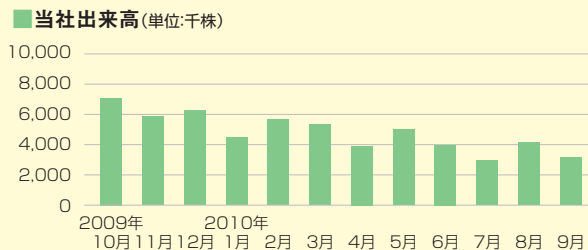
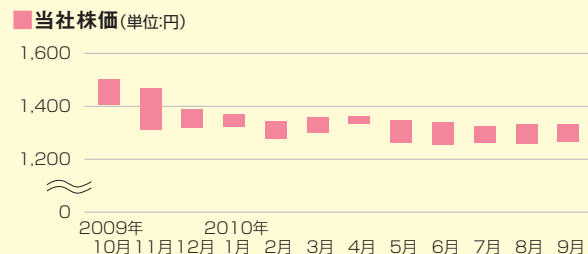
※2010年3月31日現在の株主さまに贈呈した株主優待製品です。



## 株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日
- **中間配当制度** あり
- **定時株主総会** 毎年6月開催
- **株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関** 住友信託銀行株式会社  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
- **株主名簿管理人事務取扱場所** 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
- **【郵便物送付先】** 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- **【電話照会先】** ☎ 0120-176-417
- **公告の方法** 電子公告により、当社ホームページ <http://housefoods.jp> に掲載して行います。  
ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- **上場証券取引所** 東京・大阪
- **証券コード** 2810
- **ハウス食品株主さま窓口** ハウス食品株式会社 総務・法務部 総務課  
〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
電話 (06) 6788-1214

## 株価・出来高の推移 〈東京証券取引所〉



## ハウス食品株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
電話 (06) 6788-1231 (代表)  
<http://housefoods.jp>

## ○株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

### 証券会社の口座に記録された株式

#### 【お手続き、ご照会の内容】

#### 【お問い合わせ先】

- 単元未満株式の買取請求
- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更

口座を開設されている  
証券会社

- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

住友信託銀行株式会社  
証券代行部

☎ 0120-176-417

### 特別口座に記録された株式

#### 【お手続き、ご照会の内容】

#### 【お問い合わせ先】

- 単元未満株式の買取請求
- 特別口座から証券口座への振替請求
- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

住友信託銀行株式会社  
証券代行部

☎ 0120-176-417

### 特別口座について

株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは当社が住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。



この報告書は、FSC™認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。